



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度

滝川ロータリークラブ

会長 坂本 和繁

- 例会日：毎週木曜 PM12:30より
- 例会場：ホテル三浦華園
- 住 所：滝川市花月町1-2-26
- 電 話：(0125)-22-3344
- F A X：(0125)-24-2755
- メール：info@rotary.gr.jp
- WebSite：www.rotary.gr.jp

第3295回 例会報告 令和4年6月9日（木）

会長挨拶



本日は、私の病気体験から日本の癌医療について素人目線でお話ししたいと思います。コマーシャルのフレーズではありませんが、癌は身近な病気であります。日本で癌治療を受ける場合、健康保険制度が対象になる標準治療は外科手術、放射線治療、化学療法の3つですが、3つの治療方法を患者が自由に選べるわけではありません。他の臓器や遠隔リンパ節に転移がない場合は局所治療である手術が放射線治療が選択可能ですが、他への転移がある場合は化学療法が適用となります。根治の可能性があるのは外科手術であり、化学療法は血液のがんなどを除き、延命を目的としています。手術も体への侵襲が大きいため年齢や全身状態によっては体への負担となり、免疫力が低下し、がんが再発、進行するなど逆効果となることがあります。癌も自ら生き残ろうと必死ですので、外科手術で完璧に取り切れなかった場合は悪性度を増し、免疫システムを騙したり、抗がん剤や放射線が効かないように鎧をまとったり、細胞分裂をいったん止めたりするそうです。したがって手術をするかどうかは、急ぐ場合を除き慎重な判断が求められます。放射線治療は外科手術と同様、局所治療ですが、開腹や臓器切除、再建が無いいため手術より体に優しい低侵襲の治療です。従来の放射線治療はエックス線やガンマ線などを用いますが、これらは患部のみに照射はできず、体を通るため正常な臓器にも照射され、副作用が避けられません。同じ放射線でもここ10年ほどで増えている粒子線は、質量が重いDNAの螺旋階段の両方を確実に切断でき、一方しか切断できない可能性のある従来の放射線より癌細胞の殺傷能力が高く、ピンポイントで患部を照射できるので副作用が低減されます。ただし、粒子線による治療は健康保険の適用、がん保険の給付対象となる先進医療に該当するかは、臓器の種類、癌の大きさ、進行期などで厚生労働省が細かく規定しており、いずれも適用とならないケースがほとんどですが、徐々に健康保険への適用が拡大しつつあります。化学療法に使われる抗がん剤は毒ガスの研究から生まれたものが最初で、癌細胞が分裂増殖する際にDNAに割り込んだり、結合したりして細胞分裂の邪魔をしたり様々あります。DNAの螺旋階段を切断する放射線治療と同様、分裂に失敗した癌細胞は死滅しますが正常な細胞にも薬剤の効果が及び副作用をもたらします。オプジーボなど免疫チェックポイント阻害剤は画期的な治療薬ですが、効果はどうなのかとか、また、遺伝子変異ごとに効果のある分子標的薬も期待の抗がん剤ですが、日本では米国のように最初の選択肢になりませんし、遺伝子変異の検査も標準治療が効かない場合にしかできません。【次回に続く】

幹事報告



1. 深川・留萌RCより例会会報が届いております。また、深川RCより例会プログラムが届いております。
2. ガバナー月信が届いております。
3. 事務局阪井さんが6月17日(金)お休みです。連絡がありましたら入井幹事までお願いします。
4. 7月6日(水)に決算理事会・クラブ協議会を開催いたします。詳しい案内は近日中に行います。

次年度幹事報告



1. 7月27日(水)にガバナー公式訪問が行われます。スケジュールの調整の上、出席をお願い致します。
2. 例年7月月初に活動計画書をお渡ししておりますが、活動計画書は7月21日の例会時にお渡しさせていただきますので、ご了承ください。
3. コロナ禍のため新委員会の顔合わせを行っておりませんでした。新年度始まりましたら開催させていただきます。

＼(^o^)／ニコニコBOX報告 (敬称略)

坂本和繁・谷口正樹・神部俊克
<小計10,000円・合計928,000円>

【今週の寄付】 (敬称略)

- ◆米山： 武田邦彦・松尾健二<累計1,108,000円>
- ◆財団： 武田邦彦・藤井謙和<累計1,205,000円>

前回のプログラム [講師卓話]
- パークゴルフを楽しもう -
【ゴルフ同好会担当例会】



パークフィールド72
支配人 梶原 順治 様
パークゴルフをプレーするシーンがすごく素敵で、そんな場所に自分の居場所を作りたいと25年前にパークゴルフの会社を立ち上げ「パークゴルフの伝道師」として広くパークゴルフを

普及させた梶原さんが、パークゴルフ場の指定管理や恵庭市でのオールシーズンの通年企画などを経て、滝川市のパークフィールド72の構想にご協力いただき、現在は支配人として手腕を振られています。コロナ禍により地方からの利用者数は大きく減っていますが、全国に誇れる同コースをさらに活かし、地元の利用者だけではなく、周辺施設との協力で地方から滝川に人が集まりサービスと出会う仕組みづくりに奔走されています。

出席報告 6月9日

会員数	病欠	免除	出席	欠席	出席率
86名	0名	7名	44名	42名	56%

■ゲスト：パークフィールド72 支配人 梶原 順治 様

編集/クラブ会報委員会 発行日：令和4年06月09日